

洋室が作れる「リフォーム畳®」を開発 車椅子が使える、滑りにくさと衝撃緩和性に優れる

1980年に埼玉県八潮市にて畳専門店として創業。日本の伝統である畳と真摯に向き合いながら、環境やライフスタイルの変化による市場の将来性に危機感を持ち、畳の概念を超える新たな床材の創造にチャレンジ。高齢化社会を見据えて畳が持つ衝撃緩和性に着目し、試行錯誤を重ねながらも「リフォーム畳®」を開発し、特許も取得した。和室と洋室の変更が容易なことや、介護保険における住宅補修にも適用されていることから、個人住宅・介護現場等の日本の新たな生活空間提案を発信している。

所在地	埼玉県八潮市木曾根684-1	設立	1980年
電話	048-996-8469	資本金	
URL	https://www.reform-tatami.com/	従業員数	2人
代表者	大山 勝		



洋室が作れて、車椅子が使える畳「リフォーム畳®」を開発

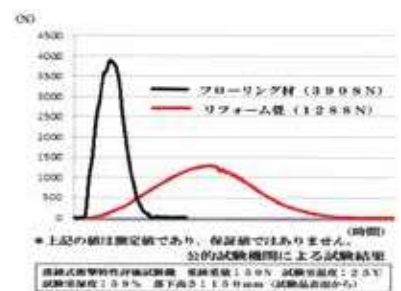
畳が持つ衝撃を緩和する柔らかさ・断熱性・防音性を保持しながら車いすや家具に対する硬さ・強さを兼ね備えた「リフォーム畳®」を開発し、特許も取得。洋室が作れるとともに、滑りにくさと衝撃緩和性で転倒事故対策として優れており、また水拭き掃除可能なため衛生的であり畳の概念を変えている。畳替えの仕組みを活かして再度畳敷きに戻すことも簡単にできるなど、大規模な工事にならずに済み顧客の負担を軽減しライフスタイルの変化に合わせた導入を可能とした新製品である。



介護保険対象の「リフォーム畳®」

顧客の負担が軽く、ライフスタイルの変化に合わせた利用が可能

採寸、交換作業は共に3時間程度で済むため顧客の日常生活への負担が少なく、また「リフォーム畳®」を導入しても畳替えの仕組みはそのままなので再び畳の部屋へ戻すのは容易である等、顧客のライフスタイルの変化に合わせた利用が可能である。表面の水拭きや消毒液噴霧に対応しており、衛生管理面において他の床材よりも優位性を持っている。「リフォーム畳®」の特長である衝撃緩和性をもって、介護保険における住宅改修制度も適用されるので費用的な負担も軽減される。



転倒時の衝撃を3分の1に軽減

「リフォーム畳®」の進化はまだまだ続く

渋沢栄一ビジネス大賞「特別賞」受賞、八潮市推奨品、八潮ブランド認定【平成30年度】等を受けている。地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターでの性能向上に関するアドバイスや公益財団法人埼玉県産業振興公社・埼玉県よろず支援拠点からの製品開発と販路開拓についての支援を活用し、継続的に表面・床等の材料について研究開発を行い、施工を通して顧客の意見にも耳を傾けながら「リフォーム畳®」のさらなる進化に日夜取り組んでいる。



渋沢栄一ビジネス大賞「特別賞」受賞